



ネットワーク・遠隔監視サービス 接続マニュアル

Business Inkjet WG7350F WG7350FM

固定IPアドレスでネットワークに接続する➡P.2

- Step1 ネットワーク環境を確認する
- Step2 有線LAN/無線LANに接続する
- Step3 固定IPアドレスを設定する
- Step4 接続を確認する

遠隔監視サービスに接続する➡P.15



本機の全機能や操作方法はオンラインマニュアルをご覧ください。
<http://ij.start.canon>



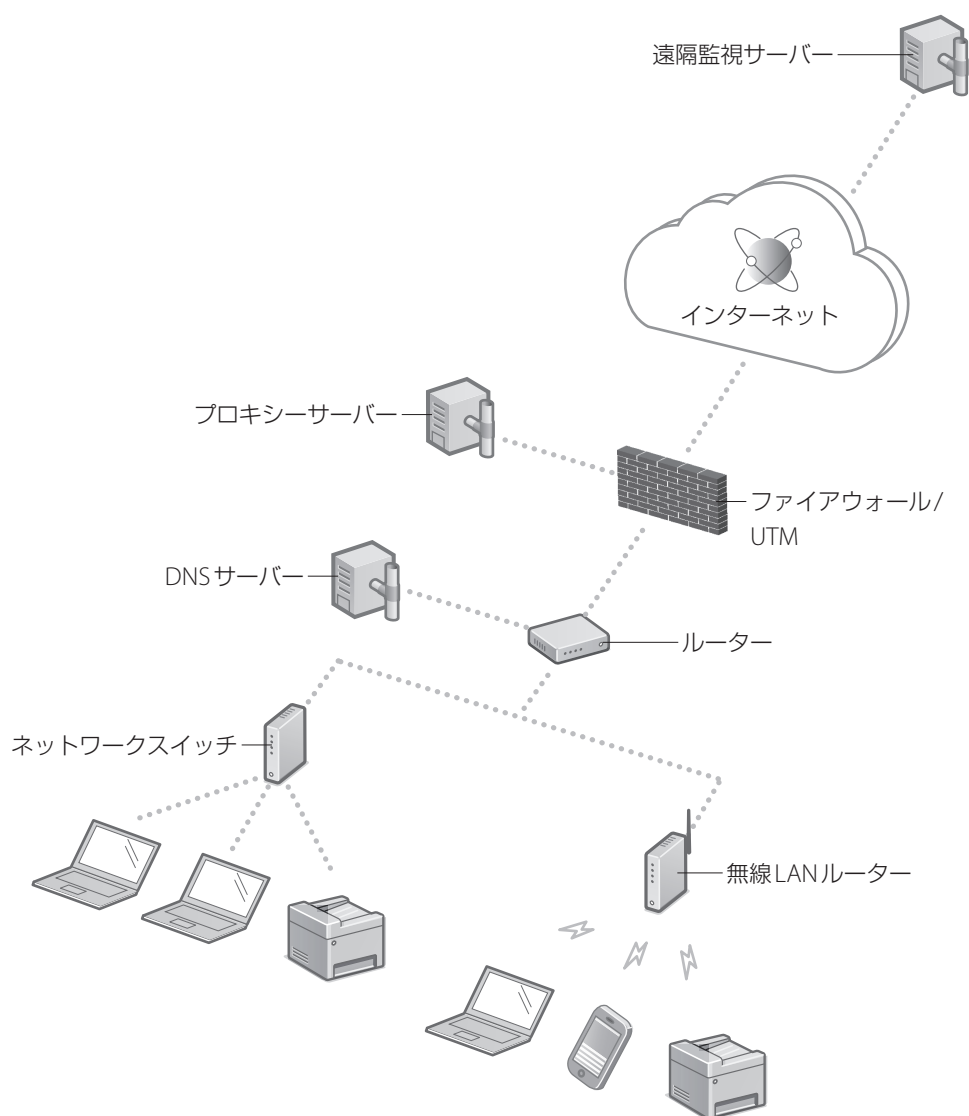
QT62379V01

固定IPアドレスでネットワークに接続する

用語解説

IPアドレス	TCP/IP 接続において、ネットワーク上にある機器を特定するために割り当てる番号のこと。IPアドレスには「IPv4」と「IPv6」の形式がある。
サブネットマスク	IPv4のIPアドレスを使用している場合に、ネットワークをいくつかに分けるための数値のこと。機器に割り当てるIPアドレスの範囲を限定することができる。
ゲートウェイアドレス	異なるネットワーク間で通信する際の「入り口」となる機器のアドレス。一般的には、ルーターがデフォルトゲートウェイとなる。
DNS (Domain Name System)	サーバーを介して、ホスト名（ドメイン名）とIPアドレスを対応させる名前解決サービスのこと。
ポート	例えるならIPアドレス＝住所とした場合の、ドアにあたるもの。ポート番号を割り当てることでセキュリティを高めることができる。
プロキシ	主にウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器とのHTTP通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのこと。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続する。
ルーター	ネットワークとデバイス類を接続するための通信機器。有線タイプと無線タイプがある。
SSID	無線LANを使用する際のアクセスポイント識別子。
ネットワークキー	無線LANに接続する際の暗号化キーのこと。SSIDに対応した暗号化キーを設定することでアクセスポイントに接続できる。
ファイアウォール	外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステム。

ネットワーク接続例



固定IPアドレスでネットワークに接続する

Step1 ネットワーク環境を確認する

固定IPを利用してネットワーク接続を行うには、ネットワーク環境の確認が必要になります。下記のリストを参照して必要な情報をあらかじめ確認しておいてください。

必要な項目	メモ
固定IPアドレスでのネットワーク接続時（IPv4）	
IPアドレス（本機のIPアドレス）	
サブネットマスク	
ゲートウェイアドレス	
無線LAN接続時	
無線LANルーターのSSID	
ネットワークキー	
DNS設定 ※	
プライマリー DNSサーバーアドレス	
セカンダリー DNSサーバーアドレス	
プロキシ設定 ※	
HTTP プロキシサーバーのアドレス	
HTTP プロキシサーバーのポート番号	
プロキシ認証用ユーザー名	
プロキシ認証用パスワード	

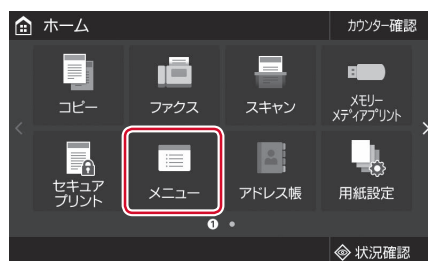
※ DNS設定またはプロキシ設定を使用している場合に必要です。

Step2 有線LAN/ 無線LANに接続する

■ 有線LANで接続する

LANケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。

- 1 ホーム画面で、＜メニュー＞を押す



- 2 ＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞▶＜有線 / 無線LAN選択＞の順に進む

システム管理者IDと暗証番号はネットワーク管理者にお問い合わせください（初期値は「7654321」に設定されています）。

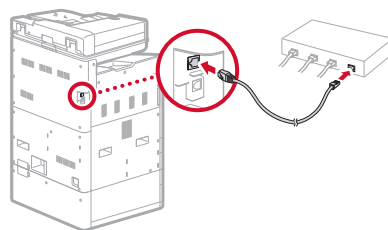


- 3 ＜有線 / 無線LAN選択＞画面で＜有線LAN＞を押す



- 4 LANケーブルを接続する

- ・LANケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- ・コネクタがきちんと差込口に収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



接続が完了したら、続けて固定IPアドレスを設定してください。➡P.10「Step3 固定IPアドレスを設定する」

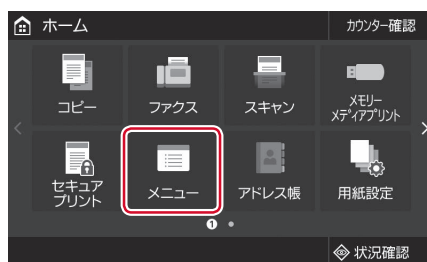
固定IPアドレスでネットワークに接続する

■ 無線LANで接続する

アクセスポイント選択方式で無線LANに手動接続する場合

「SSID（ネットワーク名）」と「ネットワークキー（パスワード）」が必要です。必要な情報はあらかじめP.4のリストを確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で、＜メニュー＞を押す

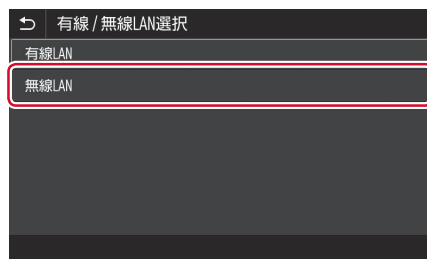


2 ＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞の順に進み、＜有線/無線LAN選択＞を押す

システム管理者IDと暗証番号はネットワーク管理者にお問い合わせください（初期値は「7654321」に設定されています）。

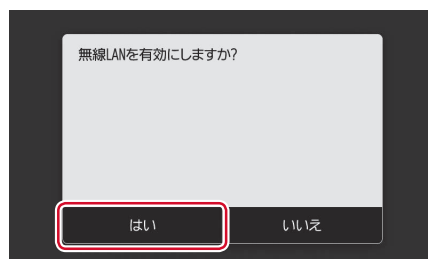


3 ＜有線/無線LAN選択＞画面で＜無線LAN＞を押す

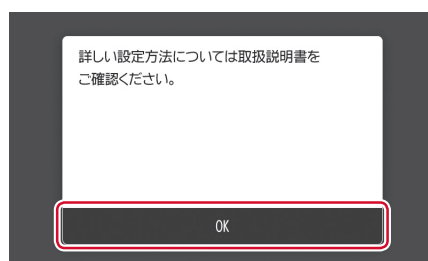


4 <ネットワーク>画面で<無線LAN設定>を押す

- ・<無線LANを有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を押してください。



5 メッセージを確認し、<OK>を押す



6 <SSID設定>を押す



7 <アクセスポイント選択>を押す

- ・接続可能な無線LANルーターが探索されます。



アクセスポイントが見つからないメッセージが表示されたときは、オンラインマニュアルを参照して再度アクセスポイントの探索を行ってください。

🔗 オンラインマニュアル

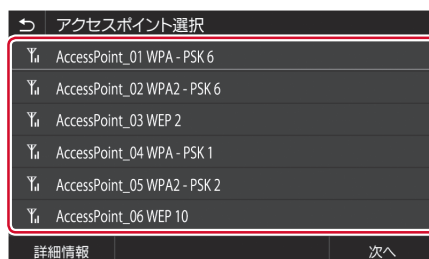
23LX-0HJ

🔍 検索

固定IPアドレスでネットワークに接続する

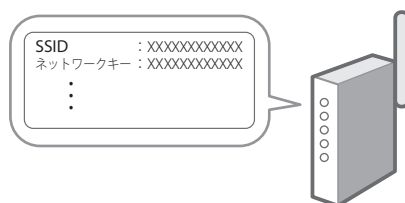
8 接続したい無線LANルーターを押す

- ・メモしておいたSSIDと一致する機器を選んで、
＜次へ＞を押してください。

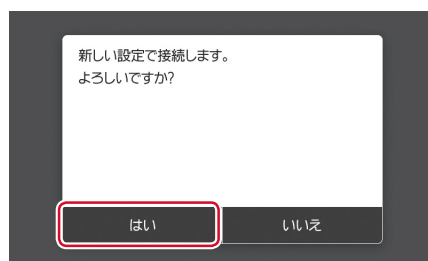


9 メモしておいたネットワークキーを入力する

- ・ネットワークキーを入力し、＜確定＞を押します。

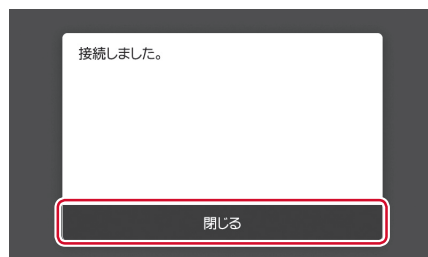


10 ＜はい＞を押す



設定中にエラーメッセージが表示されたら、＜閉じる＞を選び、ネットワークキーが正しいか確認したあと、手順4からやりなおしてください。

11 ＜接続しました。＞と表示されたら＜閉じる＞を押す



接続が完了したら、続けて固定IPアドレスを設定してください。➡P.10 「Step3 固定IPアドレスを設定する」

WPS / AOSS / らくらく無線スタートで設定する場合

お使いの無線 LAN ルーターが AOSS または らくらく無線スタートに対応している場合は、プッシュボタン方式でかんたんに設定することができます。WPS に対応している場合は、プッシュボタン方式に加えて WPS PIN コード方式による設定も可能です。

■プッシュボタン方式

無線 LAN ルーターの外装箱に次のようなマークが記載されているか、または機器本体にこれらのボタンがあればプッシュボタン方式で設定できます



🔍 オンラインマニュアル

23LX-00A

🔍 検索

■WPS PIN コード方式

WPS 対応ルーターの中にはプッシュボタン方式に対応していないものがあり、この場合は PIN コードを入力して設定します。外装箱または取扱説明書の WPS PIN コードの記載を確認してください。

🔍 オンラインマニュアル

23LX-00C

🔍 検索

無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合、WPS では接続できないことがあります。

手動入力する場合

認証や暗号化などのセキュリティ設定を詳しく指定したい場合は、SSID やネットワークキーを自分で入力して設定します。

🔍 オンラインマニュアル

23LX-00F

🔍 検索

固定IPアドレスでネットワークに接続する

Step3 固定IPアドレスを設定する

■ IPv4アドレスを設定する

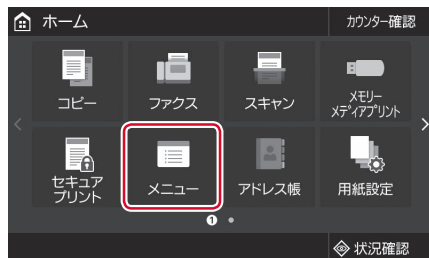
IPv4アドレスの設定には、DHCPなどを使って自動で割り当てる「自動取得設定」と、自分で入力する「手動取得」があります。固定IPアドレスを設定する場合は「手動取得」を使用します。

- ・固定IPアドレスを設定する際は、「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」が必要です。お使いのネットワーク構成によって、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス以外の設定情報が必要になります。必要な情報はネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・IPv6アドレスを設定する場合は、オンラインマニュアル  オンラインマニュアルを参照してください。

23LX-00L

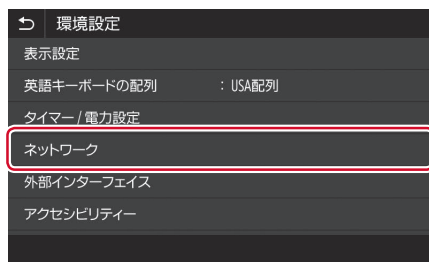
 検索

- 1 ホーム画面で、＜メニュー＞を押す

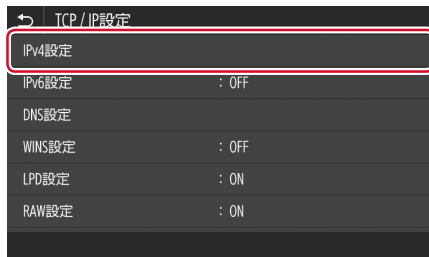


- 2 ＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞の順に進む

- ・ログイン画面が表示されたら、システム管理者IDと暗証番号を入力します。
- ・システム管理者IDと暗証番号はネットワーク管理者にお問い合わせください（初期値は「7654321」に設定されています）。



- 3 ＜TCP/IP設定＞▶＜IPv4設定＞▶＜IPアドレス設定＞の順に進む

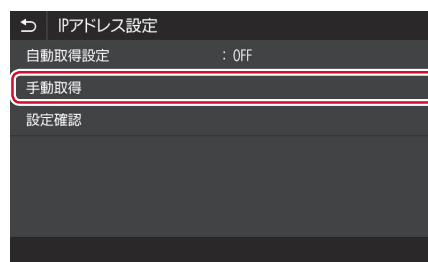


- 4 <IPアドレス設定>画面で<自動取得設定>を押したあと、<自動取得>で<OFF> ▶ <確定>を押す



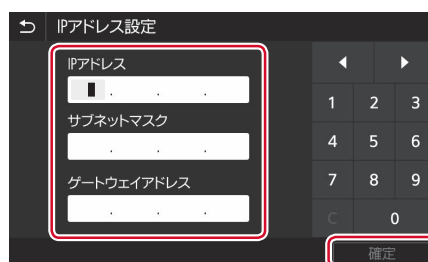
DHCP接続をする場合は、<自動取得>を<ON>、<プロトコル選択>を<DHCP>に設定してください。

- 5 <手動取得>を押す

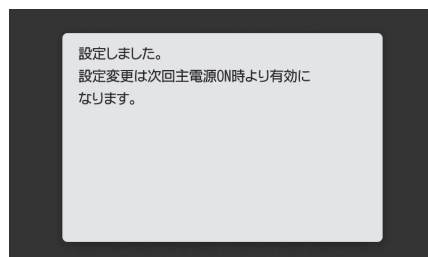


手順4で<自動取得>を<OFF>にしておかないと、<手動取得>を押すことができません。

- 6 <IPアドレス>、<サブネットマスク>、<ゲートウェイアドレス>を入力し、<確定>を押す



- 7 本機を再起動する
・電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



固定IPアドレスでネットワークに接続する

■ DNSを設定する

DNS (Domain Name System) は、ホスト名とIPアドレスを対応させるための情報です。IPアドレスを自動で取得する場合は、必要なDNSの情報が自動で設定されます。IPアドレスを手動で入力する場合は、DNSの情報も手動で入力する必要があります。

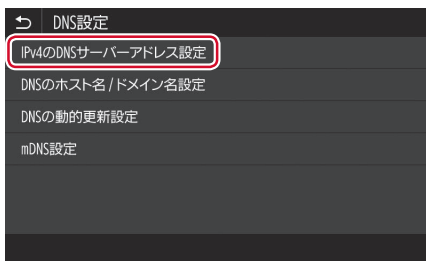
DNSの設定が必要かどうかは、ネットワークの構成により異なります。お使いの環境でのDNS設定の要否と、必要な設定内容についてはネットワーク管理者に確認してください。

- 1 <メニュー> ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <TCP/IP設定> の順に進み、<DNS設定>を押す

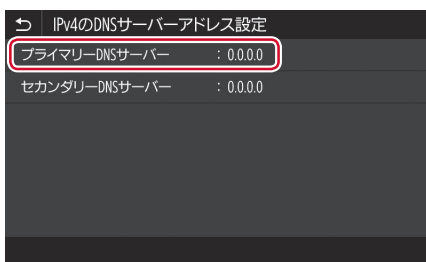
- ・ログイン画面が表示されたら、システム管理者IDと暗証番号を入力します。
- ・システム管理者IDと暗証番号はネットワーク管理者にお問い合わせください（初期値は「7654321」に設定されています）。



- 2 <IPv4のDNSサーバーアドレス設定>を押す



- 3 <プライマリ DNSサーバー>を押す



4 プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを入力し、<確定>を押す

・<確定>を押すと、前の画面に戻ります。



5 必要に応じて<セカンダリー DNS サーバー>を選んで、セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力します。



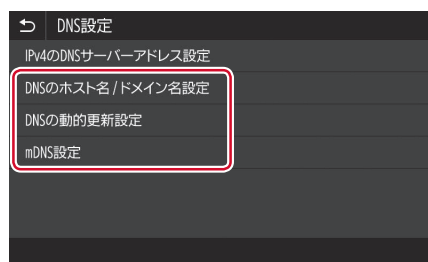
6 必要に応じて残りの項目を設定する

- ・設定内容の詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。
- ・オンラインマニュアルにはリモートUIでの設定方法が記載されています。操作パネルまたはリモートUIのどちらかで設定してください。

 オンラインマニュアル

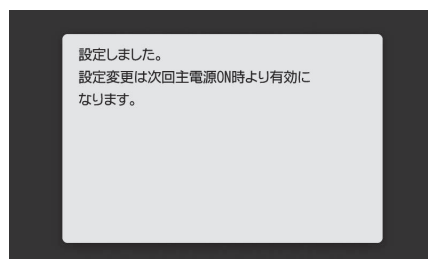
23LX-013

 検索



7 本機を再起動する

- ・右の画面は設定の入力の度に表示されます。設定を複数回行う場合は、すべての設定が終わってから再起動します。



固定IPアドレスでネットワークに接続する

Step4 接続を確認する

■ 正しく接続できたか確認をする

本機と同一ネットワーク内のPCから、IPアドレスを直接入力することでリモートUI画面が表示されます。リモートUI画面が表示されれば、正しくネットワークに接続されていることになります。

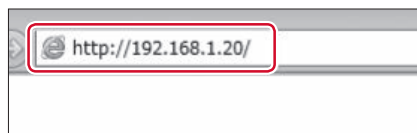
➡ オンラインマニュアル

23LX-07X

🔍 検索

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機のIPアドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



3 リモートUI画面が表示される

- ・右の画面が表示されれば、正しく接続されています。
- ・リモートUI画面が表示されなかった場合は、オンラインマニュアルを参照してネットワークの接続を確認してください。



➡ オンラインマニュアル

23LX-0HJ

🔍 検索

遠隔監視サービスを利用する場合

遠隔監視サービス接続へ進み設定を行ってください。➡ P.15

遠隔監視サービスを利用しない場合

設置・基本操作マニュアルの「ソフトウェアをインストールする」(P.18)から設定を続けてください。



WG7350FM (定額モデル) をご利用の際は、遠隔監視サービスに必ず接続してください。

接続できていない場合、消耗品の残量が検知できないため、消耗品の自動配送サービスが受けられなくなります。

遠隔監視サービスに接続する

遠隔監視サービスへの接続とご利用について

■ ご利用開始までの操作と流れ

WG7350FMをお使いの場合は、本サービスに接続する必要があります。

ご利用開始までは「ネットワーク接続の確認」と「監視サーバーとの通信テスト」の2つの操作が必要です。

・ ネットワーク接続の確認

ネットワークに接続されていることを確認してください。➡P.14「Step4 接続を確認する」
遠隔監視サービスのご利用に際して、インターネットへの接続が可能か確認してください。

プロキシサーバーを使用する場合

1 リモートUIを起動し、管理者モードでログインする

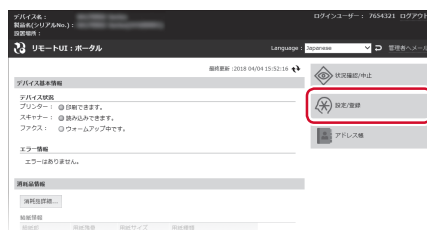
➡ オンラインマニュアル

23LX-07X

Q 検索



2 ポータルページで、「設定/登録」をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [プロキシ設定] の順に進み、[編集] をクリックする



遠隔監視サービスに接続する

4 [プロキシを使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する

【プロキシを使用する】

チェックマークを付けると、本機がHTTP通信するときは指定したプロキシサーバーが使用されます。

【HTTP プロキシサーバーのアドレス】

使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じてIPアドレスやホスト名などを設定してください。

【HTTP プロキシサーバーのポート番号】

使用するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

【同一ドメインにもプロキシを使用する】

チェックマークを付けると、同じドメインにある機器と通信するときにも指定したプロキシサーバーが使用されます。

【プロキシ認証を使用する】

プロキシサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を半角英数字で入力します。

【パスワードを設定/変更する】

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] に新しく設定するパスワードを半角英数字で入力します。

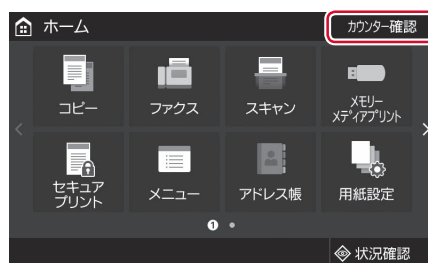
5 [OK] をクリックする

・監視サーバーとの通信テスト

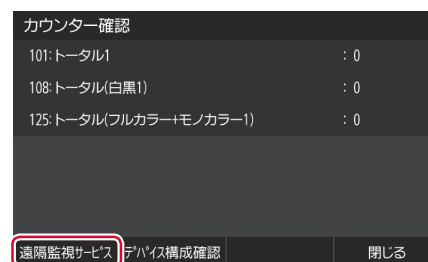
監視サーバーとの通信テストを行います。通信テストを行うと、遠隔監視サービスが開始されます。

監視サーバーとの通信テスト

1 ホーム画面で、＜カウンター確認＞を押す



2 ＜遠隔監視サービス＞を押す

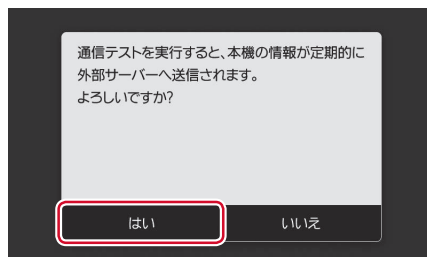


3 ＜通信テスト＞を押す

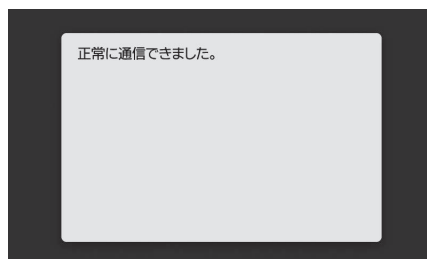


遠隔監視サービスに接続する

4 右の画面が表示されたら<はい>を押す



5 <正常に通信できました。>と表示される
➡ 設定は終了です。



- ・エラーメッセージが表示された場合は、P.19「主なエラーと対処方法」を参照して、設定を確認してください。
- ・設定が完了したら、システム管理者データリストを出力し、本書と一緒に保管しておくことをおすすめします。なお、レポートの出力は約10ページありますのでご注意ください。
<メニュー> ▶ <レポート出力> ▶ <リストプリント> ▶ <システム管理者データリスト> ▶ 表示されている用紙がセットされていることを確認し、<スタート>を押す

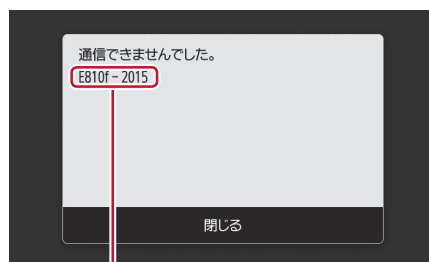
接続が完了したら

設置・基本操作マニュアルの「ソフトウェアをインストールする」(P.18)から設定を続けてください。

主なエラーと対処方法

■ エラーメッセージが表示されたら

エラー画面には、エラーコードが表示されます。下記の表から、エラーコードに対応する内容と対処方法を確認のうえ、対処を行ってください。



エラーコード

表に載っていないコードのエラーが発生した場合や、リストの対処法では解決しない場合は、お買い上げ販売店またはキヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページにてお問い合わせください。

【プロキシサーバー設定】

エラーコード	原因	対処方法
8000 200A	遠隔監視サーバーへの接続エラー： ・TCP/IP 通信失敗 ・本機器のIPアドレス未設定	プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシ設定を行い、プロキシサーバーの状態を確認する。
8000 200B	遠隔監視サーバーのアドレス解決に失敗した	接続中のネットワークが、インターネットへの接続が可能な環境か確認する。
8000 2014	設定されているアドレスが不正なため、プロキシサーバーに接続できない	プロキシサーバーのIPアドレス/ポート番号を確認し、設定しなおす。
8000 2015	プロキシサーバーのアドレスがホスト名で登録されているが、名前解決で対象のサーバーに接続できない	・プロキシサーバーのホスト名、DNSの設定を確認する。 ・プロキシサーバーをIP アドレスで設定する。
8000 201E	プロキシサーバーへの認証が失敗した	プロキシサーバーへログインするためのユーザー名、パスワードを確認し、設定しなおす。

遠隔監視サービスに接続する

日付／時刻を設定する ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-005

Q 検索

ファームウェアをアップデートする ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-083

Q 検索

【日時設定／ファームウェア更新】

エラーコード	原因	対処方法
8000 2028	サーバー証明書エラー： ・本機器の日時が正しくない ・サーバーへのルート証明書が本機器に登録されていない ・ユーザーが別の証明書を使用していて、正規の証明書ファイルが登録されていない	本機器に正確な日時を設定する。 本機器の日時設定が正しかった場合は、最新のファームウェアに更新する。
8000 2029	サーバー証明書URL チェックエラー	
8000 2046	サーバー証明書期限切れ： ・本機器の日付が証明書の有効期間外 ・本機器に登録されたルート証明書の期限切れ ・ユーザーが最初に登録したルート証明書が使用され、正規の証明書が登録されていない	

【通信テスト実施】

エラーコード	原因	対処方法
0000 0003	スケジュールがない／通信テスト未完了	通信テストを実行し、完了する。
8000 0101	遠隔監視サーバー返答エラー	
8000 0207 8000 0208	内部スケジュールが不正	
8000 2000	その他の通信エラー	
8000 0304	通信テスト時の信号消費エラー	時間を置いて、通信テストを再実施する。
8000 2004	遠隔監視サーバーまでの通信は成功しているが、何らかのエラーが発生した	
8000 2047	遠隔監視サーバーからの返答がタイムアウトした	
8000 2003	本機器の主電源を OFF/ON した直後、ネットワークの準備ができていない状態で通信テストを実行した	本機器の電源 ON の後、60 秒ほど経ってから通信テストを実行する。

Memo

Memo

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店またはキヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページにてお問い合わせください。

お読みになった後は

ブックホルダーにしまってください。

※本書の内容は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

検索番号 の使いかた

1. オンラインマニュアルサイトを表示する
<http://ij.start.canon>
2. 「オンラインマニュアルを読む」を選択し、本機を選ぶ
3. 検索番号でオンラインマニュアルを検索する

XXXX-XXX

🔍 検索

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6